



矢中だより

第5号

令和7年6月13日
由利本荘市立矢島中学校

修錬の刻^{とき} 「黙想の刻」

『自主・敬愛』を校訓とする本校は、同時に「礼儀」を重んじる学校でもあります。学校行事や毎日の活動、授業を通して、この礼節を養っていくほか、年間の特別な時間を通して、自分を見つめる機会としています。この特別な時間が『修錬の刻』と呼ばれるものです。

修錬の刻の意義

- 一 落ち着いた気持ちでよいスタートができる
- 一 無言で素早い行動ができる
- 一 心身を鍛え礼節を重んじる精神が身に付く

○『修錬の刻』は、次のように計画されています。

4月～ 9月 「第一歩 黙想の刻」 ～黙想を通して自己を見つめる～

10月～11月 「第二歩 入魂の刻」 ～剣道を通して自己を鍛える～

5月28日（水）6校時にオリエンテーションを行い、5月30日（金）朝に1回目の『修錬の刻』を行いました。体育館には、凜とした空気が漂い、素晴らしい一時でした。



全校書道

11日（水）に地域の4名の書家の先生方を講師にお迎えして、本校の特色である「三道教育」の一つ「全校書道教室」の1回目を実施しました。

各学年とも席書大会の課題を指導していただきました。講師の先生方からは、上手に書くためのポイントを分かりやすく指導していただきました。また、生徒一人一人に対して筆づかいや文字のバランスなどについて、やさしくていねいにアドバイスしてくださいました。

生徒達は、筆先に精神を集中しながら、手本を見つめて少しでも上手に書こうと真剣に取り組んでいました。

お忙しい中、ご指導くださいました先生方、本当にありがとうございました。



1年：文武両道



2年：天地清新



3年：伝統を守る

地区総合体育大会 見せろ矢中魂！！

<各部主将の抱負>

◇野球部 主将 土 田 遥 心

野球部は合同チームで総体に出場します。連携プレーなどの練習は週末しかできませんが、平日の練習は、少ない人数でもできる練習をがんばっています。総体の組み合わせは、十分勝つ可能性があるものでした。大会本番では、「一球入魂」で一球一球集中して、悔いが残らないよう全カプレーでがんばります。応援よろしくお願いします。

◇剣道部 主将 佐 藤 杏音児

剣道部は、基本を大切に、日々の練習をがんばっています。また、練習から本番を想定して取り組んでいます。毎週、遠征に連れて行ってくださったり、心から応援をしてくださったりと、多くの支援をしてくださる保護者の方々に恩を返せるよう、技術はもちろん、気合いでも相手を上回っていきたいです。個人、団体戦ともに完全優勝を目指してがんばります。応援よろしくお願いします。

◇柔道部 主将 小 番 楓 葵

柔道部は、団体では地区で2位以上になり、しっかり県大会に行って活躍できるようにします。そして、個人戦では、全県大会に行くことを目指し、総体までの練習期間を有効に使って、しっかり勝ちをねらいに行きたいです。応援よろしくお願いします。

◇卓球部 主将 黒 木 颯 空

卓球部は、日頃課題としている体力づくりや技術向上に向けて練習をしてきました。総体では、各々が今まで練習してきたことを出し切り、悔いの残らないような試合にできるようにがんばりたいです。

◇バレーボール部 主将 遠 藤 怜 佳

バレー部は、鳥海・岩城・由利・大内の合同チーム、本荘南中と戦います。試合をするにあたり、ゲームの流れを自分たちのものにできるように、戦っている時の雰囲気やプレーを意識して、一戦必勝でがんばりたいです。また、2チームと連続で試合するので、体力づくりをこれからしっかりと行い、「疲れて試合に集中できない」「疲れが出て負けてしまった」ということがないように心がけたいです。最後の1球まであきらめずに全力で楽しみ、優勝目指してがんばります。

◇ソフトボール部 主将 牧 朱 織

ソフトボール部は、由利中・西目中と合同チームで試合をしています。地区総体では、本荘由利のチームが1つなので、能代などのチームと試合をすることになります。協会旗大会になります。試合の一つ一つを大切にしていき、1本でも多くのヒットが打てるよう、チーム全員で力を合わせてがんばります。